

放課後等ディサービス事業所における自己評価総括表(公表)

事務所名	放課後サポートクラブえがお
保護者評価実施期間	令和 7年 10月 31日～令和 7年 11月 7日
保護者評価有効回答数	(対象者数) 12名 (回答者数) 12名
従業者評価実施期間	令和 7年 10月 31日～令和 7年 11月 7日
従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名 (回答者数) 6名
事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 11月 27日

★ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われるこ ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
①	基準より多い人員の職員を配置し ている	職員を多く配置することで、体調 不良等の急な欠員にも対応でき る。	専門職を増やすことで支援の質の 向上につなげることができる。
②	日々の活動の様子を写真や動画で 保護者に伝えている	送迎時、お迎え時だけでなく写真 や動画を保護者に送ることで、よ りわかりやすく伝えることができ ている。	翌日ではなく、当日のうちに伝え られるよう工夫する。
③	不登校支援を含めた環境づくりや 活動内容を計画している	・学校や保護者との密な連携を とっている。 ・不登校児童が安心して過ごせる 場の提供ができている。	児童の特性や学習進度に合わせた 学習支援を行う。
	事業所の弱み(※)だと思われるこ ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
①	平日の中学生の支援時間が少ない	・下校時間が遅く、支援時間に限り がある。 ・学校からの事業所までの送迎距離 が長く、送迎に時間がかかってい る。	登所後の時間配分（スケジュール） を工夫する。
②	屋外や体育館等の広いスペースで 活動する機会が少ない	・事業所の敷地内または近隣に外 遊びの場がない。 ・児童によって下校時間にばらつ きがある。	長期休暇中等に外出等、普段でき ない活動を計画する。
③	保護者同士の交流の機会がない	保護者の就労状況や平日のみの開 所のため、一律の対応が難しい。	親子で参加できる活動を計画する。